

# スポーツ政策と経済学

2023年 4月25 日

ランチミーティング@財務省

佐々木 勝（大阪大学）



- 大阪大学大学院  
経済学研究科・教授
- ジョージタウン大学 Ph.D
- 世界銀行コンサルタント
- アジア開発銀行エコノミスト
- 関西大学経済学部講師
- 専門：労働経済学

労働経済学の視点からスポーツ  
の効果について研究

- 「**人的資本**」としてのスポーツ
  - 協調性、リーダーシップ、根性、忍耐などの非認知スキルの育成に効果的
  - 労働アウトカム（昇進や賃金）に影響
- スポーツから**行動経済学**を理解する
  - 損失回避な選好
- **組織論**の考察
  - 組織のダイバーシティと生産性
  - モチベーションを高める評価方法

- **企業スポーツと行政**の役割
  - 企業スポーツと従業員のモラル（士気）
  - 公共財としてのスポーツ選手
- オリパラ大会の**経済効果**
  - 因果効果の推定
  - 便益と費用の解釈
- **健康資本**としてのスポーツ
  - 医療・介護費の抑制に貢献

- ① **Sportometrics**

- スポーツ・データから経済学のモデルの有効性を検証（豊富なデータ）
- スポーツ → 経済学

- ② **Sports microeconomics**

- 経済学の知見を活かして、スポーツの諸問題を解決する
- 経済学 → スポーツ

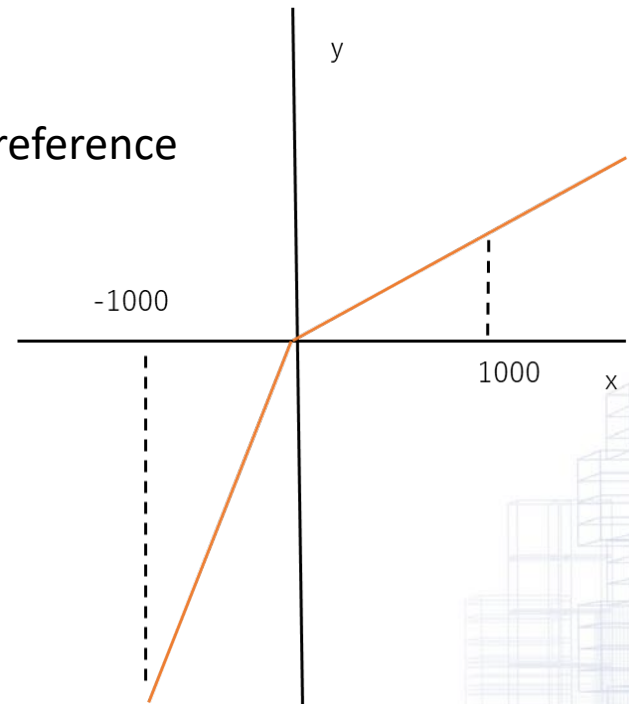


# ① 行動経済学

- **参照点依存型**の特性をもつ
- 価値関数
  - 参照点からの変化に着目
  - 参照点は期待から形成

expectation-based reference dependent preference

- **損失回避的**な選好



# ① 行動経済学

- スポーツ選手は参照点を設定し、それを下回ることを嫌がる選好なのか？
- プロゴルファーの場合  
(Pope and Schweitzer 2011)

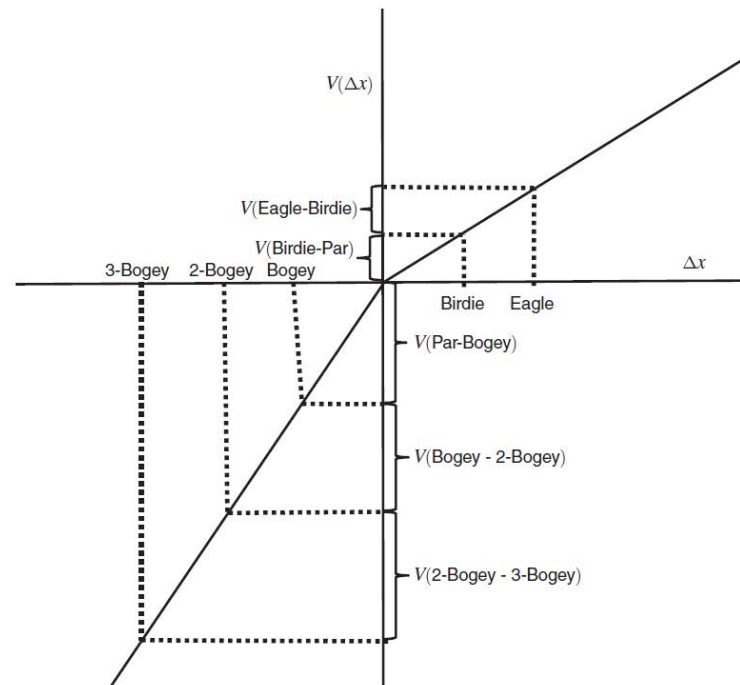
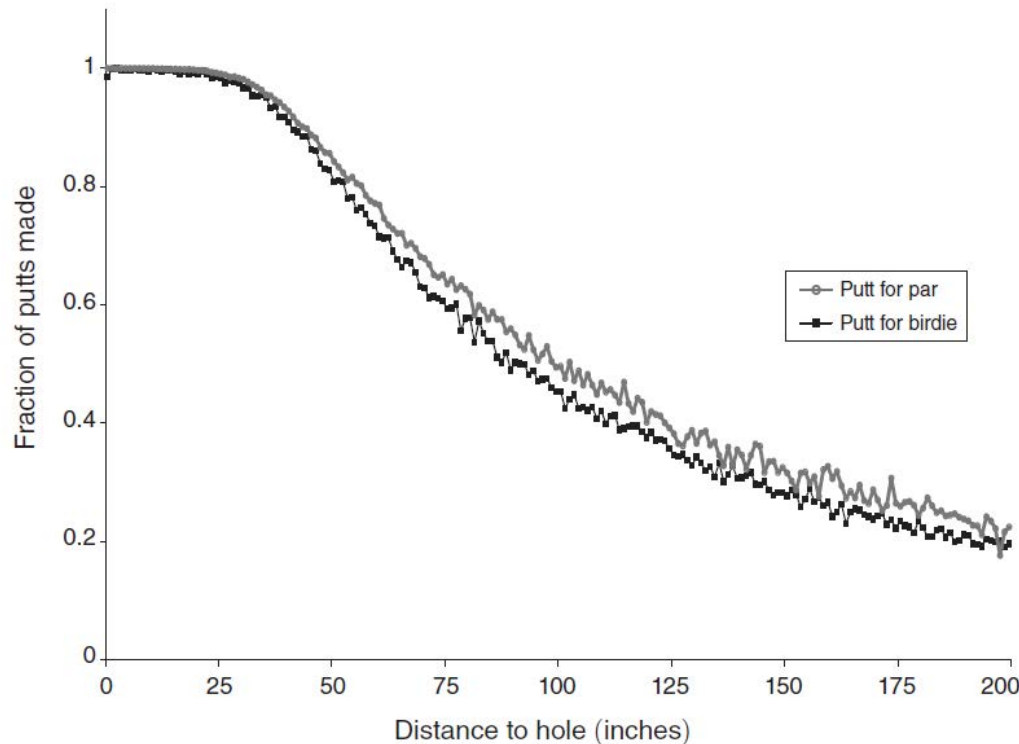


FIGURE 1. PROSPECT THEORY IN THE DOMAIN OF GOLF WITH PAR AS THE REFERENCE POINT

# ① 行動経済学

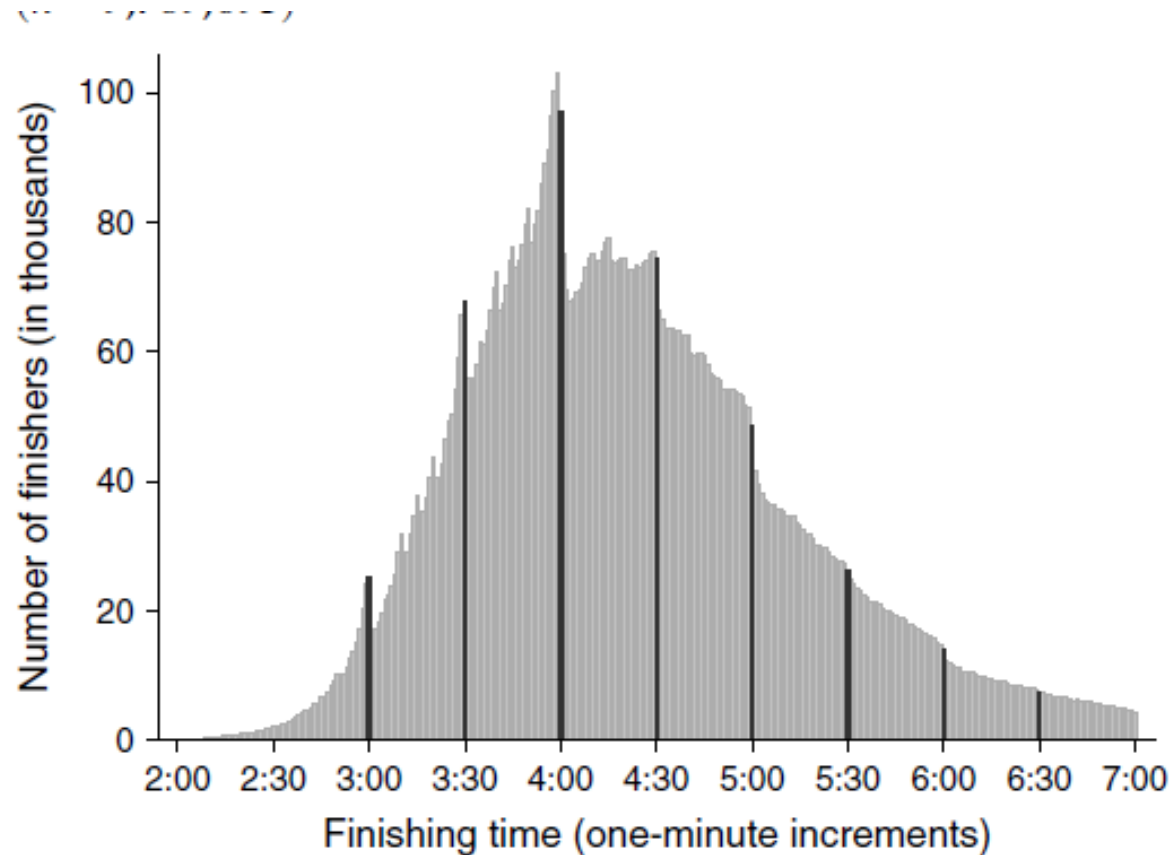
- バーディ・パットより、パー・パットのほうが成功確率が高い
- パー・パットを失敗したくないことの表れ





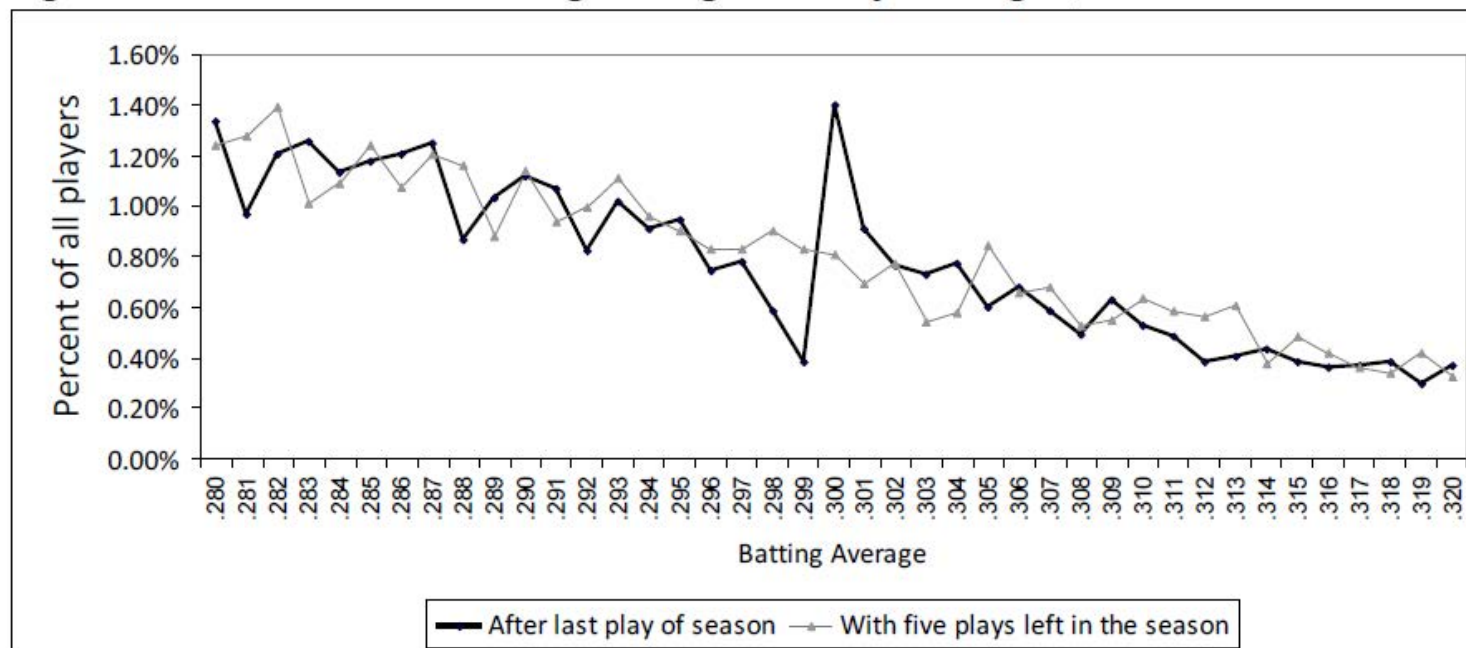
# ① 行動経済学

- 市民マラソンの場合 (Allen et al. 2018)



# ① 行動経済学

- プロ野球の選手(Major League)の場合 (Pope and Simonsohn 2011)



Note: Figure includes only player-seasons with at least 200 at bats.

# ① 行動経済学

- 短いサーベイ論文
- アクセス・フリーです

Journal of Behavioral and Experimental Economics 89 (2020) 101597



Contents lists available at [ScienceDirect](#)

Journal of Behavioral and Experimental Economics

journal homepage: [www.elsevier.com/locate/jbee](http://www.elsevier.com/locate/jbee)



Ask not what economics can do for sports - Ask what sports can do for economics



## ARTICLE INFO

*JEL classification:*

D70  
D00, I00  
D20  
Z20

## ABSTRACT

In this article we list the advantages of using sports data for economic research. We also provide a rich overview of economic literature that used sports data to test different fundamental economic theories as well as articles that presented divergences of economic decision making from neo-classical theories. Finally we present articles that were published in this special issue on behavioral economics and decision making in sports, all of which try to answer more general questions by means of sports data.

## ②-1 部活の地域移行

- 運動部活動の地域移行に関する検討会議による提言（2022年6月）
  - 教員の長時間労働の是正のため
    - 平均勤務時間：  
11時間15分（小学校）、11時間32分（中学校）  
「平成28年度教員勤務実態調査」
  - 部活動を地域のスポーツクラブに移行
    - 公立中学校の土日の部活運営を地域に移行
    - スポーツ庁 約120億円の概算要求（23年度予算）
    - 複数校の部活統合も視野

## ②-1 部活の地域移行

- 課題
  - 指導員の確保と質の保証
    - スポーツ少年団などの指導者数→約59万人
    - 人口10万人当たり470人
    - 都市部ほど平均を下回る（提言より）
  - 施設の確保
    - スポーツ少年団など競技団体数→約18万
    - 人口10万人当たり平均142
    - 都市部ほど平均を下回る（提言より）



## ②-1 部活の地域移行

- 課題（つづき）

- 部活に取り組みたい教員への配慮
  - 適材適所の人材配置
  - 教員の労働生産性の向上

- 財源

- 達成目標「2025年度末」見直し

- 地域移行の達成目標時期は設定せず
- 2023～2025年度は「改革推進期間」とする
- 地域移行が困難な場合、運営本体を学校のまま外部人材を配置

## ②-1 部活の地域移行

- とにかく、**財源**の確保が重要
- 受益者負担の必要性を訴える必要
- 外部指導者と学校の指導者、どちらに配分するか、どのように使うかは当事者が決めればよい
- では、負担をお願いするための説得材料はどうすれば良いのか？

## ②-1 部活の地域移行

- スポーツ活動 ⇒ **非認知スキル**↑
  - スポーツ活動を通じて、**協調性、忍耐、根性、統率力**など社会生活に必要なことを習う
  - また、スポーツ活動は**体力向上、健康維持**に寄与する。（**健康資本**）
- 非認知スキルの**教育リターン**が高いことを示すエビデンスの積み重ねが必要



## ②-1 部活の地域移行

- 部活動（運動部）をしていた高校生は、将来、そうでなかった高校生よりも賃金が**5～15%**高い研究結果がある

(Kniffin et al. 2015, Barron et al. 2000, Persico et al. 2004)



## ②-1 部活の地域移行

- Stevenson (2010)
- 1972年にアメリカ連邦議会でTitle X（男女教育機会均等法案）が可決
- 男女共スポーツに参加する機会を得た
  - 女子高生のスポーツ参加率  
3.7%(1972) → 25%(1978)
  - 大学進学率  
10%ポイント上昇 → 1%ポイント上昇
  - 就職率  
10%ポイント上昇 → 1~2%ポイント上昇



## ②-1 部活の地域移行

- 高校生の時に部活の代表選手だった人は、将来、長きにわたって**寄付活動**や**ボランティア**に参加する傾向がある。  
(Kniffin et al. 2015)



## ②-1 部活の地域移行

- スポーツ・クラブに参加する人ほど、「**ソーシャル・キャピタル（社会資本）**」（社会生活において必要な能力、信頼関係や人間関係）の水準が高い。

(Pawlowski et al. 2016)

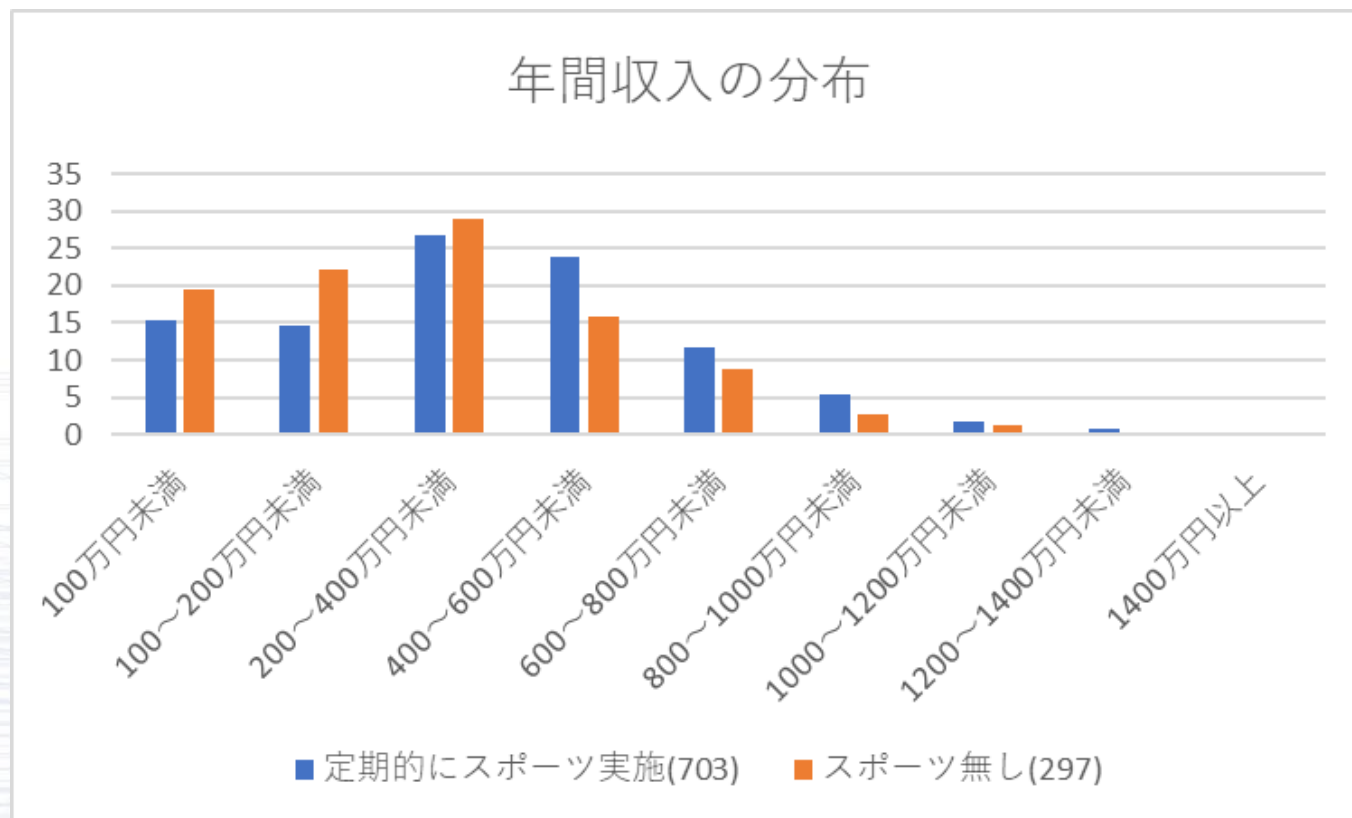
- スポーツ・クラブに参加する人ほど、認知能力・非認知能力が高い。

(Felfe et al. 2016)



## ②-1 部活の地域移行

- 中学時代のスポーツ活動と年収
- 独自データ（インタビュー）



## ②-1 部活の地域移行

### 留意点（1）

- 因果関係に注意！
- スポーツ活動を通じて、**協調性、忍耐、根性、統率力**を鍛えるから
- しかし、そもそも、**協調性、忍耐、根性、統率力**があるからこそスポーツに励んでいるかもしれない。
- 因果関係を明らかにする必要がある。

## ②-1 部活の地域移行

### 留意点（2）

- スポーツだけが非認知スキルを高める機会ではない
- 文化部や生徒会の活動も非認知スキルを高める機会である



## ②-2 スポーツと介護

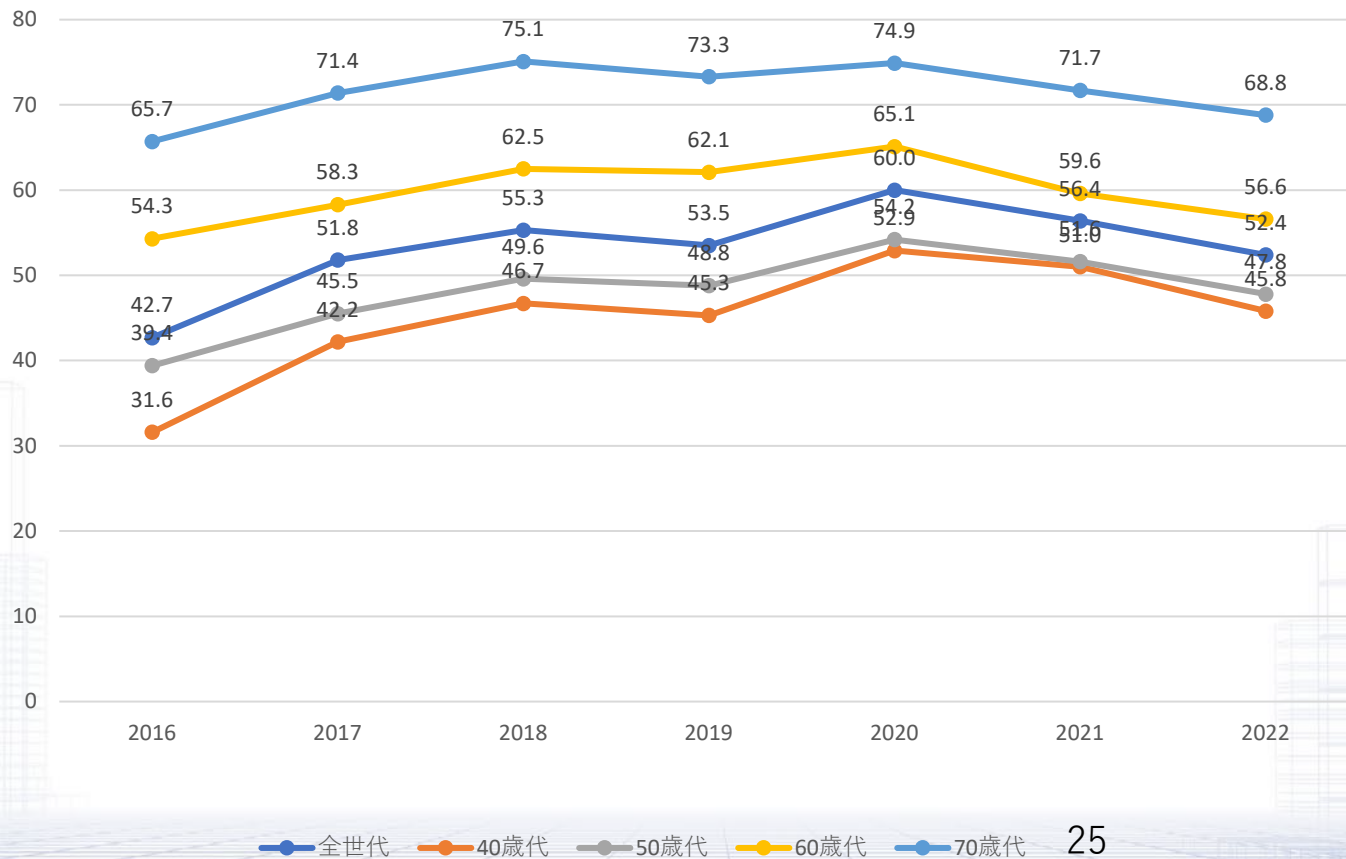
- 高齢化社会→社会保障費の増加
  - 平均寿命（2021年）
  - 男性：81.47歳、女性：87.57歳
- できるだけ、元気に健康でいてもらいたい（健康寿命の引き上げ）
  - 健康寿命（2019年）
  - 男性：72.68歳、女性：75.38歳

参照：「令和3年簡易生命表」厚生労働省

- そのために、スポーツの促進（健康資本の蓄積）が効果的

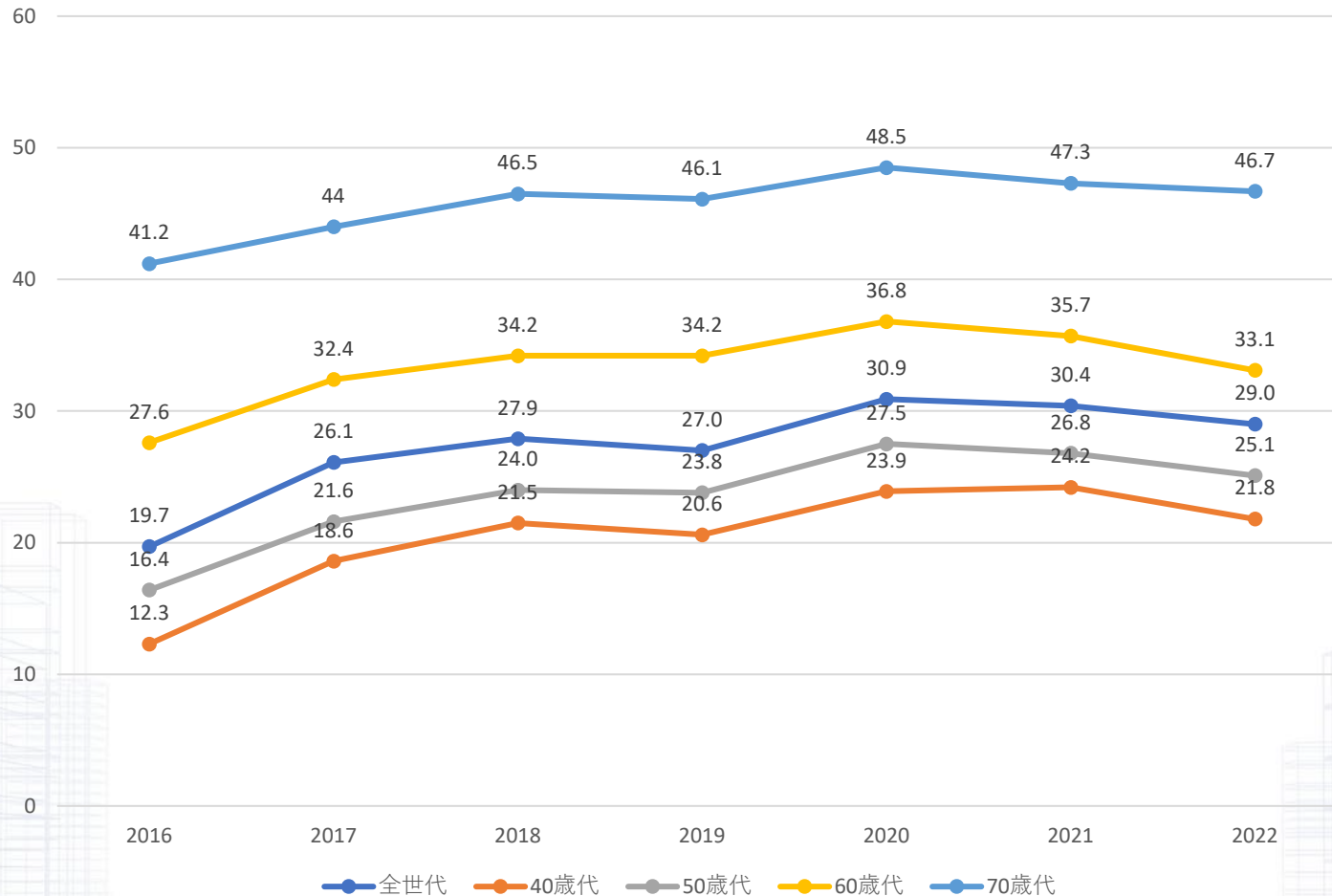
## ②-2 スポーツと介護

- 「スポーツの実施状況等に関する世論調査」  
週1日以上運動実施率の推移



## ②-2 スポーツと介護

### 週3日以上運動実施率の推移



## ②-2 スポーツと介護

- スポーツ参加を促す仕組みとは？
- 費用と便益を明確にする
- 費用
  - 金銭的なコスト
  - 心理的なコスト
  - 時間的なコスト
- 便益
  - 健康維持・向上
  - 社会とのつながり

## ②-2 スポーツと介護

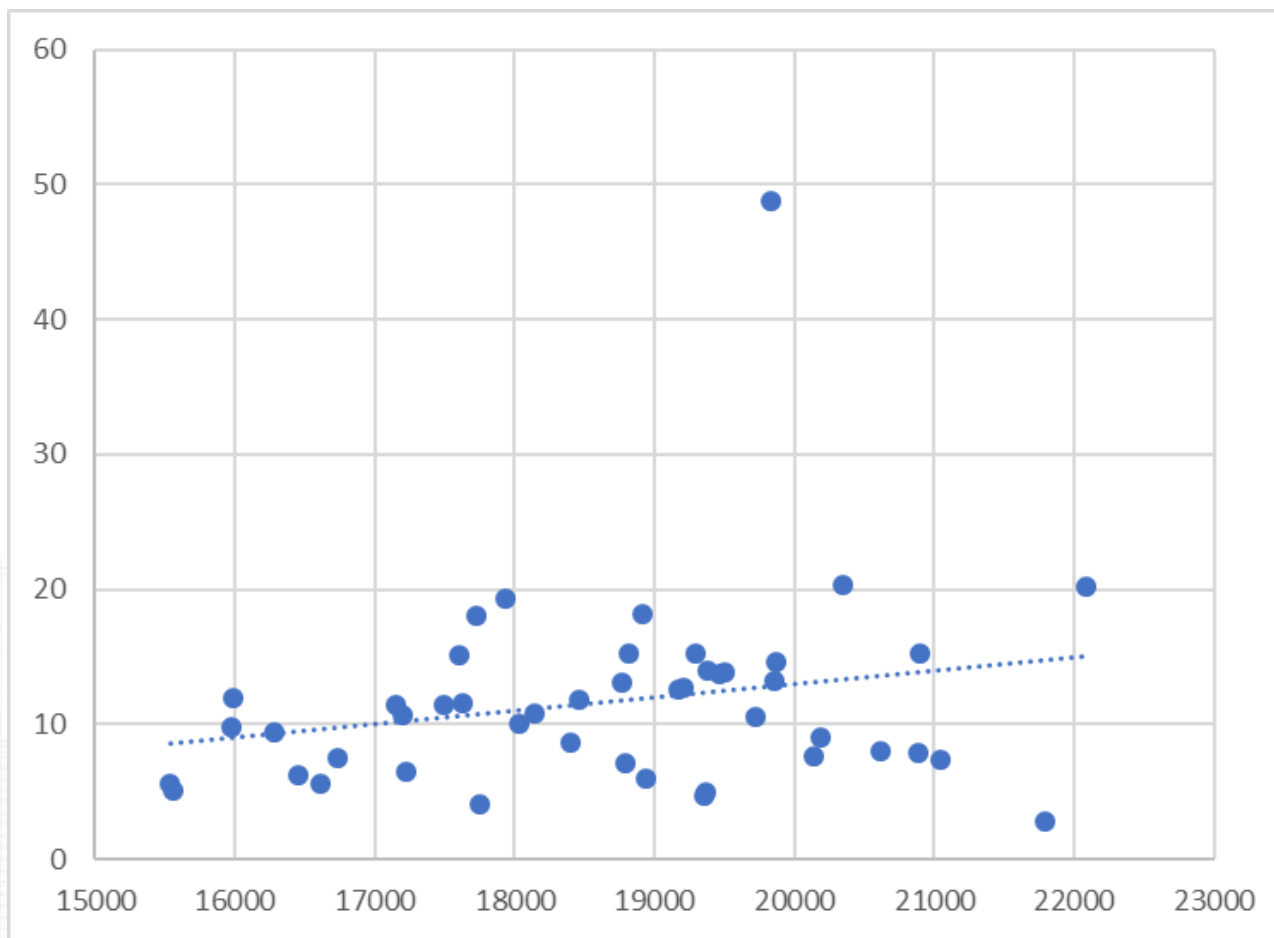
- 費用を引き下げる取り組み
  - スポーツ振興事業に対する支援
  - 体験プログラムの設置
  - 総合型地域スポーツクラブの普及
- 便益を引き上げる取り組み
  - 情報共有の促進
  - 地域における総合型地域スポーツクラブによる広報活動の充実化



## ②-2 スポーツと介護

要介護（要支援）割合と総合型地域スポーツクラブとの相関（都道府県別、人口10万人あたり）

クラブ数

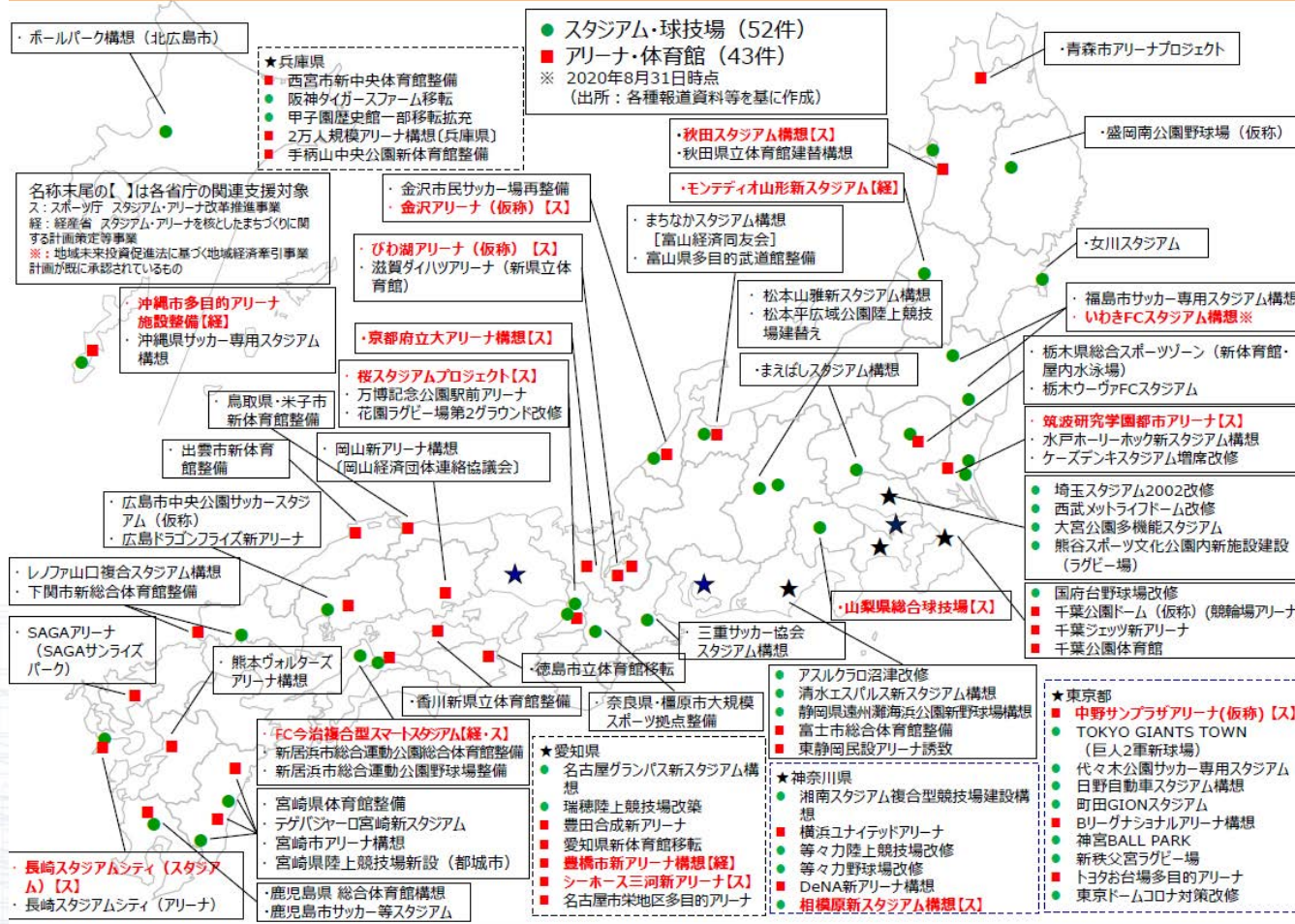


要介護（要支援）

令和2年度介護保険事業状況報告（厚生労働省）、総合型地域スポーツクラブ育成状況（スポーツ庁）、人口推計（総務省）

# ②-3 スポーツと地域経済

## スタジアム・アリーナの新設・建替構想と先進事例形成の現状



出典：スポーツ庁 (2020年8月31日時点)



## ②-3 スポーツと地域経済

### ES CON FIELD HOKKAIDO (日本ハム・ファイターズ)



### 里山スタジアムプロジェクト (FC今治)



#### 環境にやさしい拡張性の高いスタジアム

拡張性・更新性の高いユニットスタンドやコンテナショップ  
10,000席～15,000席に拡張可能



## ②-3 スポーツと地域経済

- スタジアム・アリーナを起爆剤としたまちづくり
- スポーツを通じた地域振興を期待
- しかし、その効果は大きくない

DOI: 10.1111/joes.12533

ARTICLE

JOURNAL OF  
ECONOMIC  
SURVEYS WILEY

### The impact of professional sports franchises and venues on local economies: A comprehensive survey

John Charles Bradbury<sup>1</sup> | Dennis Coates<sup>2</sup> | Brad R. Humphreys<sup>3</sup>

## ②-3 スポーツと地域経済

- 地方自治体によるスタジアム・アリーナ建設の負担は大きい
- なぜ、スタジアム・アリーナの新設・建替えによる地域経済への効果は大きくないのか？

*Journal of Economic Perspectives—Volume 14, Number 3—Summer 2000—Pages 95–114*

### **The Economics of Sports Facilities and Their Communities**

John Siegfried and Andrew Zimbalist



## ②-3 スポーツと地域経済

- 理由として
  - 代替効果
    - プロスポーツを観戦するために、他の支出を控える
  - 付加価値の流出
    - スポーツによって生み出された付加価値のほとんどは地域から流出
  - 公共サービスへの支出の低下
    - アリーナの建設費を負担することで、他の公共サービスへの支出が低下する

## ②-3 スポーツと地域経済

- 誘致する**喜びや誇り** ← 金銭的価値に換算
- 喜びや誇りなど、目に見えない価値を事前に評価する方法 → **仮想評価法**
- 「誘致するためにどれだけお金を支払いますか」を直接尋ねる。
- 各回答者が回答した金額のことを「**支払意思額**」 (willingness-to-pay) という。
- 支払意思額の合計が、目にみえない価値を含めた誘致の金銭的価値と考える

## ②-3 スポーツと地域経済

- 仮想評価法で注意すること

### (1) 仮想バイアス

- 仮想的な質問なので、実現しそうな質問をする

### (2) 支払い手段バイアス

- 支払い手段の設定によって、支払意思額が異なる

### (3) 戦略的バイアス

- 支払意思額を意図的に表明しない

- 経済学の知見はスポーツ政策に有効
  - ドーピングの抑制
  - スポーツ実施率引き上げ
  - 企業スポーツの役割
  - スポーツ習慣化の促進 など
  
- 経済学者を利用してほしい
  - EBPMの取り組み
  - 定量的な政策効果の検証
  - データの整備が必要